

授業科目名	マーケティング演習		講師名	大滝 秀一
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科		分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	演習		場所 (校内・校外)	校内95%/ 校外5%
授業科目 概要	ファッションマーケティング全般の概要を学び、ターゲット分析、ブランディング・プロモーションを含むマーケティング全般を身につける			
習得 技術・知見	1年生のためファッション業界の基礎知識から始まり”儲ける仕組み”を総合的に理解する。ファッション業界で必須のターゲットに向けた売れる仕組みをSWOT分析等にて演習していく。最終的にファッションビジネスで必要なマーケティングを網羅できるようにする。			
企業連携 (連携企業)	アダストリア(ラコレ)プレス 松山さん講演あり(マーケティングとプレス実務について)、サンエービーディー フリーズスマート連携(予定)			
使用教科書 他教材				
授業課題	グループごとにブランドマーケティングについての課題を提出・発表していく。			
合計時間数	97.5		1年・通年	
授業計画及び学習の内容				
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容	
1	4月10日	好きなブランドのブランドブック作成	簡単にバボポにてまとめる	
2	4月17日	↓そのブランドの店頭リサーチ	主にハコ・モノ・ヒトリリサーチ	
3	4月24日	↓	リサーチ課題提出	
4	5月1日	↓	ブランドブック作成提出	
5	5月8日	実際のマーケティング(プレス)とは?	アダストリア(ラコレ)プレス松山さん講演(2限・3限)	
6	5月15日	ブランドのマーケティング戦略リサーチ	グループワークによる衣食住遊休知美の分析	
7	5月22日	ターゲット分析	それに合った商材イメージを考える 提出	
8	5月29日	各チームプレゼン		
9	6月5日	マーケティング概要説明	ビジネス検定3級マーケティングの内容	
10	6月12日	↓	期末試験範囲	
11	6月19日	SWOT分析の解説		
12	6月26日	演習	自己分析・就活希望会社分析	
13	7月3日	前期期末試験		
14	7月10日	返却・解説		
15	9月4日	ピックアップブランドの競合リサーチ	コンペチターをリサーチし強み弱みを考察する	
16	9月11日	バス選定		
17	9月18日	上記ブランドのショップリサーチ	ファッションビルと同フロアの競合ブランドとの比較	
18	9月25日	ブランド比較資料作成	良い点・悪い点・改善点(商品・VMD・販売)	
19	10月2日	プレゼンテーション	各自プレゼン	
20	10月9日	フリーズスマート研究	グループワーク コンセプト等リサーチ	
21	10月16日	↓	商品研究	
22	10月23日	↓	ターゲット分析	
23	11月6日	↓	マーケティング分析(売れる仕組み)良い点・改善点	
24	11月13日	グループプレゼン	フリーズスマートにも送り評価いただく	
25	11月20日	ブランディングに関するリサーチ	好きなブランドのブランドブック作成	
26	11月27日	↓		
27	12月4日	↓		
28	12月11日	↓	提出	
29	12月18日	2021 S/Sトレンド分析	コレクションブランドの分析	
30	12月25日	↓	5つのブランドリサーチ	
31	1月15日	↓	スタイリング・素材展開・カラー柄展開・アイテム分析	
32	1月22日	↓		
33	1月29日	↓	提出	
34	2月5日	期末試験		
35	2月12日	返却・解説		
36	2月19日	ショー期間		
37	2月26日	↓		
38	3月5日	↓		
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。				
[授業の特徴・形式と教員紹介] ブランドを店頭リサーチし、グループに分かれてマーケティング企画リサーチをすすめていく。 担当教員は大手アパレルの代表取締役経験を持ち、実務に即した課題や指導を行なっている。				

授業科目名	カラー	講師名	堀川
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	講義、演習	場所 (校内・校外)	校内
授業科目概要	1. AFT色彩検定3級公式テキストを使用し、AFT色彩検定3級の取得を目指す 2. イメージに合わせたカラーコーディネート 3. パーソナルカラー(人それぞれに似合う色)概論		
習得 技術・知見	1→ AFT色彩検定3級の習得及び、AFT色彩検定3級の習得した色彩知識を仕事の現場に活かす方法を修得する。 2→表現したいファッションイメージに合わせてカラーコーディネートの提案が出来るようになる。 3→パーソナルカラーの概要を理解し、販売やメイクアップ、ヘアカラー、ファッションデザイン、ファッションスタイリングなど それぞれの分野に役立つ知識を習得する(色彩応用編)。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	AFT色彩検定3級公式テキスト、1996カラーカード、カラーカードリング、のり、はさみ、色鉛筆、絵の具、教科担当の資料、プリント配布(各項目のレジュメ、各項目の小テスト、模擬テスト他)、プロジェクター、ホワイトボード、カラードレープ、鏡		
評価方法 採点方法	出席状況、授業態度(取組み姿勢)、授業内提出物、小テストや模擬テストの点数など、それぞれの項目ごとに段階評価に落とし込みをし、学校で定められている評価点方法に合わせて算出する。		
合計時間数	25	1年・前期	
業計画及び学習の内容			
回	月 日	テッ・課題目的・目標	内容
例)1	例)9月1日	例)用具名称・使用	例)ミシン説明・使い方・用具準備
1	Apr14日	・色彩検定について ・色の表示1	色彩検定の概要や取得目的を知る 色の成り立ち、PCCS(表色系) テキストページP.32～48 *講義+実習*
2	Apr21日	・色の表示2	PCCS テキストページP.39～48 *講義+演習*
3	Apr28日	・色の表示3 ・色彩心理1	PCCSの色票制作 色の心理的効果
4	May12日	・色彩心理2	色の視覚効果
5	May19日	・PCCSを用いた色彩調和1 ・ファッションと色彩	配色と配色演習→提出 ファッションビジネスの世界と流行色、ファッションコーディネート(配色をファッションを通して習得) テキストページP.70～91とP.112～115 *講義+演習*
6	May26日	・PCCSを用いた色彩調和2 ・ファッションと色彩	配色と配色演習→提出 ファッションコーディネート(配色をファッションを通して習得) テキストページP.92～97とP.110～112 *講義+演習*
7	Jun2日	・配色イメージ ・光と色(PCモニターや印刷物の色再現)	色の三属性(色相、明度、彩度)やトーンを用いた配色イメージ テキストページP.104～107 *講義+演習*色が見えるしくみ、混色と混色の身近な応用例
8	Jun9日	・検定直前対策1	出題ポイントを項目ごとに解説 *講義中心* ●光と色(色が見えるしくみ、照明と色の見え方、色を見る眼のしくみ) テキストページP.10～30
9	Jun16日	・検定直前対策2	出題ポイントを項目ごとに解説 *講義中心* ●インテリアと色彩(試験で出る範囲)テキストページP.118～125
10	Jun23日	・検定直前対策3 ・模擬試験&解説	出題ポイントを項目ごとに解説 *講義中心*
11	Jun30日	・検定試験答え合わせ ・イメージに合わせたカラーコーディネート1 カジュアル、ロマンチック、エレガント、	色彩検定3級公式テキストの8種類の配色イメージをイメージスケールを使用し理解する。 さらにファッションやメイクなどにおける8種類のイメージを理論に基づいてカラーコーディネートで表現。 *講義+演習*
12	Jul7日	・イメージに合わせたカラーコーディネート2 簡単なファッションカラーボード制作	色彩検定3級公式テキストの8種類の配色イメージをイメージスケールを使用し理解する。 さらにファッションやメイクなどにおける8種類のイメージを理論に基づいてカラーコーディネートで表現。 ファッションカラーボード制作→提出 *講義+演習*
13	Jul14日	・パーソナルカラー概論 ・好きな色からわかる顧客心理 ・ユニバーサルカラーデザイン	パーソナルカラー理論の知識を深め、パーソナルカラーを使ってカラーコーディネート演習を行なう。ミニ診断。 *講義+実習* 好きな色からパーソナリティがわかる色彩心理応用編。 *講義中心* 高齢化が進む中で、将来直面する問題に即した、色覚の多様性に配慮した、誰もが使いやすい色使いについて。 *講義中心*
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 色彩検定合格を目指して、協会のテキストとオリジナルのテキストを使い講座を中心として行う。 担当教員は協会から講師を紹介していただいている。			

授業科目名	ヘアスタイリング		講師名	名取
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科		分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	実技		場所 (校内・校外)	校内
授業科目概要	ヘアスタイリング用のウィッグを使い、ヘア道具の扱い方やヘアスタイリングの方法を学ぶ			
習得 技術・知見	ヘアスタイリングの基本テクニックと基本テクニックを活かした応用テクニックを学ぶ			
企業連携 (連携企業)				
使用教科書 他教材				
評価方法 採点方法	実技テスト:90点満点 学んだテクニックを習得しているか、作品に反映できているか、美しく作れているか、作品のアイデア、独創性はあるか、実技テストで作成したヘアスタイリングについてのコンセプトシート:10点 作品のコンセプトをきちんとたてているか			
合計時間数	25		1年・後期	
授業計画及び学習の内容				
		ステップ・課題目的・目標	内容	
後期	1	オリエンテーション	ファッション業界について、ヘア美容用語解説、ヘア用具の説明、ウィッグを使った三つ編み	
	2	編み込みテクニック	表編み、裏編み (ブラッシング、ブロッキング、コーミング含む)	
	3	ヘアアイロン巻き	フォワード巻き、リバース巻き	
	4	作ってみよう「カチューシャ編み込み&ミックス巻きダウンスタイル」	これまで習得した技術を組み合わせて1つのヘアスタイルを完成させる	
	5	ポニーテールテクニック/ホットカーラー巻き	ゴムの結び方、色々な位置のポニーテールについて、毛先のホットカーラー巻き	
	6	ボンパドールとお団子ヘア	ボンパドール(小ボンパ)、ピニング/シニヨン(お団子ヘア)、毛先の逆毛テクニック	
	7	くるりんぱ、夏の浴衣向けアップスタイル	くるりんぱスタイル、編み込みやポニーテールを組み合わせたアップスタイルを完成させる	
	8	ショートヘア、メンズヘア	生徒が相モデルでヘアスタイリングをする	
	9	大きなボンパドールヘア	ホットカーラー巻き、根本の逆毛、ピニングテクニック	
	10	作ってみよう「夜会巻き」	ブロッキング、ホットカーラー巻き、逆毛の作り方、仕上げテクニック	
	11	夜会巻きの復習/実技テストの練習	同上 / 個々に実技テストの練習	
	12	期末テスト:カワイイ/カッコイイ	テーマを選び制限時間内にヘアデザインを作り上げる	
	13	テスト時のヘアデザイン再現orオリジナルのヘアデザインを作成	クラス内で作品を評価する。および講師からのコメント	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。				
[授業の特徴・形式と教員紹介] ヘアスタイリング用のウィッグを使い、ヘア道具の扱い方やヘアスタイリングの方法を学ぶ。 担当教員はTV出演や講演等でも活躍するヘアメイクアーティストである。				

授業科目名	メイクアップ		講師名	柏木
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科		分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	実技		場所 (校内・校外)	校内
授業科目概要	1. フルメイクの為の基礎知識の習得。 2. 対人の顔をメイクする実践テクニックの習得。 3. 将来の職種にリンクする、メイクにも精通した知識、技術を養う。 4. 就職活動や社会人として通用する自身の身嗜みとして役立てる。			
習得 技術・知見	基礎知識の習得、対人メイクの実践テクニックの習得。 就職活動や社会人として通用する自身の身嗜み。			
企業連携 (連携企業)				
使用教科書 他教材	講師オリジナルテキスト、資料、学校用意メイク用具、講師提供メイク用具			
評価方法 採点方法	実技テスト:90点満点 学んだテクニックを習得しているか、作品に反映できているか、美しく作れているか、作品のアイデア、独創性はあるか、 実技テストで作成したヘアスタイリングについてのコンセプトシート:10点 作品のコンセプトをきちんとたてているか			
合計時間数	27.5		1年・後期Ⅱ	
授業計画及び学習の内容				
学期区分	回数	ステップ・課題目的・目標	内容	
後期1	例)1	例)用具名称・使用方法の理解	例)ミシン説明・使い方・用具準備	
後期1	1	オリエンテーション クレンジング～スキンケア	指針・習得目標 メイクの落とし方～肌の整え方	
後期1	2	ベースメイク	肌づくり ベース・ハイライト・シャドー トラブルカバー	
後期1	3	アイブローメイク	眉の印象別パターン リシェーブの仕方	
後期1	4	アイメイク	目の印象別パターン ライン・ビューリング・マスカラ 色別印象	
後期1	5	チークメイク リップメイク	チーク 顔形別・印象別パターン リップ ライン別パターン 色別印象	
後期1	6	CMプラン コレクションプラン	作品の為の企画書・メイクデザイン画・スタイル画の制作	
後期1	7	実技テスト	プランに基づき作品制作 技術の集大成	
後期2	8	オリエンテーション クレンジング～スキンケア	指針・習得目標 メイクの落とし方～肌の整え方	
後期2	9	ベースメイク	肌づくり ベース・ハイライト・シャドー トラブルカバー	
後期2	10	アイブローメイク	眉の印象別パターン リシェーブの仕方	
後期2	11	アイメイク	目の印象別パターン ライン・ビューリング・マスカラ 色別印象	
後期2	12	チークメイク	チーク 顔形別・印象別パターン	
後期2	13	リップメイク	リップ ライン別パターン 色別印象	
後期2	14	CMプラン コレクションプラン	作品の為の企画書・メイクデザイン画・スタイル画の制作	
後期2	15	実技テスト	プランに基づき作品制作 技術の集大成	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。				
[授業の特徴・形式と教員紹介] 1. フルメイクの為の基礎知識の習得。 2. 対人の顔をメイクする実践テクニックの習得。3. 将来の職種にリンクする、メイクにも精通した知識、技術を養う。4. 就職活動や社会人として通用する自身の身嗜みとして役立てる。 担当教員はショーや舞台上で活躍中のメイクアーティストである。				

授業科目名	PCワーク	講師名	福嶋
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	Windowsパソコンの基本的な操作方法と、Office(Word・Excel・Powerpoint)の使い方		
習得 技術・知見	Windowsパソコンの基本操作の習得。 業務内容に最適なビジネスソフトの判断と使用(文書制作・数字管理・プレゼン)。 基礎的なビジネスメールのやりとり。		
企業連携 (連携企業)	特になし		
使用教科書 他教材	Windowsパソコン、各種ソフト(Office、タイピングソフト)、USBメモリー		
評価方法 採点方法	授業提出データ、実技試験、授業態度		
合計時間数	35	1年・前期	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
2	1月7日	Windowsパソコンの基本操作	電源のON/OFF、フォルダの理解、USBメモリ操作
3	1月14日	タイピング練習	ホームポジションの理解、タイピングソフトを使った入力練習
4	1月21日	Wordを使ったビジネス文章作成	フォントや文字飾り、画像の挿入の仕方。案内状の作成
5	1月28日	Wordの用紙・レイアウト変更	プレスリリースの作成
6	2月4日	Excelを使った表の作成	文字入力や罫線を引いての表の作成
7	2月11日	Excelを使った購入リストの作成	四則計算を使った表の作成
8	2月18日	Excelを使った商品管理表の作成	関数を使った表の作成(SUM、AVERAGE、MAX、MIN)
9	2月25日	Excelを使ったリサーチ資料の作成	表の作成とそれを元にした各種グラフの作成
10	3月3日	Excelを使った企画書の作成	文章、表、グラフを盛り込んだ企画書の作成
11	3月10日	Powerpointデータの作成	プレゼンデータ作成の基礎(ページ作成、文・図の配置)
12	3月17日	テスト	実技試験(Word・Excelデータ作成)
13	3月24日	Powerpointデータの作成	プレゼンデータ作成の応用(ノート・発表者モード)
14	3月31日	Powerpointを使ったプレゼンテーション	プレゼンテーションの実施
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] オフィスで標準のビジネスツールとしてWindowsパソコンの基本的な操作方法と、Office(Word・Excel・Powerpoint)の使い方担当教員は編集プロダクションでライター経験をもち、オフィスツールに精通する教員である。			

授業科目名	英会話	講師名	Stephen Spencer
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	日常英会話の習得		
習得 技術・知見	日常英会話のヒヤリングとスピーキング		
企業連携 (連携企業)	特になし		
使用教科書 他教材	Fashionable English Textbook		
評価方法 採点方法	授業態度、ペーパーテスト		
合計時間数	35	1年・前期	
授業計画及び学習の内容			
学期区分	回数	ステップ・課題目的・目標	内容
	1	例)用具名称・使用方法の理解	例)ミンシ 説明・使い方・用具準備
	2		Self-Introduction / Bingo
	3		Text Introduction / Greetings
	4		Colour Palette / Colours
	5		Patterns / Colours and Patterns
	6		Materials
	7		Clothing
	8		Co-ordination
	9		Styles and Trends
	10		People
	11		Fashion Show
	12		Travel
	13		
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] ネイティブの講師による英会話実習。			

授業科目名	カメラワーク	講師名	小林 紋子
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	講義・演習・実技	場所 (校内・校外)	校内・校外
授業科目 概要	デジタルカメラの基本操作～応用まで		
習得 技術・知見	写真撮影、動画作成についての基礎知識の習得		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	KISSデジタル1眼レフカメラ、撮影ライト機材(リングライト)、Macbook、レフ版、プリント		
評価方法 採点方法	取り組み姿勢、課題、実技テスト		
合計時間数	27.5	1年・後期Ⅱ	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
例)1	例)9月1日	例)用具名称・使用方法の理解	例)ミシン説明・使い方・用具準備
1	4月9日	カメラの取り扱い方、写真撮影の基本、アングル	カメラの取り扱い方を学びつつ、アングルについての見え方の違いを学ぶ(巣鴨商店街)
2	4月16日	演出、隠語、外観撮影、スナップ、ポートレート、カメラマン	スクリーンを使用しながら基礎知識を学ぶ
3	4月23日	写真プレゼン	好きな写真をリサーチ、プレゼン
4	4月30日	テーマ撮影	チームになってテーマに沿った撮影
5	5月7日	テーマ撮影プレゼン、動画作成	前回の写真のプレゼン、動画作成の説明
6	5月14日	動画作成	動画作成企画書作成
7	5月21日	動画作成	動画素材撮影
8	5月28日	動画作成	動画素材撮影、動画編集
9	6月4日	動画作成	動画編集
10	6月11日	動画作成	動画作成プレゼン
11	6月18日	屋外撮影	基礎知識と公園などでレフ版やストロボを使用した実践撮影
12	6月25日	テーマ撮影	チームになってテーマに沿った撮影
13	7月2日	テーマ撮影プレゼン、実技テスト企画書作成	前回の写真のプレゼン、実技テストに向けて企画書作成
14	7月9日	実技テスト	企画書通りに撮影実技テスト
15	7月16日	実技テストプレゼン	スクリーンを使用しながらプレゼン、批評
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 学生各自で実機を使った写真撮影実習、動画作成についての基礎知識の習得。 担当教員はプロカメランとしての経験をもつ教員が担当する。			

授業科目名	服飾史	講師名	古賀
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	講義	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	古代から現代までの衣服の歴史		
習得 技術・知見	衣服の歴史を知り、素材から形までを理解しデザイン、スタイリングに活かす。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	世界服飾史 深井晃子		
評価方法 採点方法	授業参加、ペーパーテスト		
合計時間数	32.5	1年・前期	

回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
例)1	例)9月1日	例)用具名称・使用方法の理解	例)ミシン説明・使い方・用具準備
1	4月9日	オリエンテーション	なぜ衣服を着るのか、何を着たのか
2	4月16日	古代エジプト、メソポタミア	布を巻く
3	4月23日	古代ギリシャ、古代ローマ	大きな布を巻く
4	4月30日	ビザンチン、ロマネスク	形を作る
5	5月7日	ゴシック、ルネサンス	キリスト教と文化
6	5月14日	バロック、ロココ	宮廷と装飾
7	5月21日	フランス革命、ナポレオン	近代の衣服
8	5月28日	市民革命、産業革命	記事の量産、材料の変化
9	6月4日	世紀末	ファッションと文化、芸術
10	6月18日	20世紀	ヨーロッパ、アメリカの発展
11	6月25日	第一次大戦	女性の活躍
12	7月2日	アール・ヌーヴォー、アール・デコ	生活と芸術
13	7月9日	ペーパーテスト	
14	7月16日	アメリカの時代、第2次大戦、戦後	世界恐慌、オートクチュール

[成績評価方法]

授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。

[授業の特徴・形式と教員紹介]

教員・学校に収蔵する豊富な資料をもとに説明・講義が中心に。
担当教員はファッション関係の書物、出版などの経験ももつアーティストである。

授業科目名	ファッション素材学	講師名	古賀
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	講義	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	アパレル製品の素材としての繊維、糸、生地を理解し、製作、販売などに役立てる。		
習得 技術・知見	アパレル素材の知識 一見輝彦		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	アパレル素材の知識 一見輝彦		
評価方法 採点方法	授業参加、ペーパーテスト		
合計時間数	60	1年・後期	
授業計画及び学習の内容			
回数	学期区分	ステップ・課題目的・目標	内容
例)1	後期1	例)用具名称・使用方法の理解	例)ミシン説明・使い方・用具準備
1	9月4日	オリエンテーション	
2	9月11日	繊維の分類、名称	
3	9月18日	織物の三原組織	
4	9月25日	織物実習	
5	10月2日	糸について	
6	10月9日	グリーンブックの作業	
7	10月16日	グリーンブックの作業	
8	10月23日	基本的な柄の名前	
9	11月6日	秋冬の布	
10	11月13日	編み物について	
11	11月20日	裏地、芯地	
12	11月27日	テスト	
13	12月4日	デニム、ジーンズについて	
14	12月11日	レースについて	
15	12月11日	皮と毛皮について	
16	12月18日	不織布、フェルトについて	
17	12月25日	プリント、染色について	
18	1月15日	繊維の見分け方	
19	1月22日	加工について	
20	1月29日	テスト	
21	2月5日	フォーマルウェアの素材	
22	2月12日	子供服、老人服	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 教員・学校に収蔵する豊富な資料をもとに説明・講義が中心に。 担当教員はファッション関係の書物、出版などの経験ももつアーティストである。			

授業科目名	縫製造形演習	講師名	老川
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	縫製に必要な技術を習得する		
習得 技術・知見	手縫いの基礎、ミシンの使い方 縫製に必要な技術習得		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	プリント		
評価方法 採点方法	課題作品 テスト		
合計時間数	95	通年	

授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月9日	用具の説明、ピンクッションデザイン出し	お道具箱セット 名前記入
2	4月16日	ミシン講習	ミシン、ロックミシンの使い方の説明
3	4月23日	ピンクッション製作	
4	4月30日	基礎縫い(手縫い)	なみ縫い、返し縫い、まつりぬい
5	5月7日	↓	ボタン、スナップ、ホック付け
6	5月14日	基礎縫い(ミシン)	直線縫い、斜りアイロン、片倒しアイロン
7	5月21日	↓	三つ折り縫い、スアッチ、ロックミシン
8	5月28日	↓	カーブ縫い
9	6月4日	トートバッグ製作	型紙作成
10	6月11日		裁断
11	6月18日		縫製 ポケット付け
12	6月25日		袋縫い
13	7月2日	↓	持ち手つけ
14	7月9日	試験	
15	7月16日	テスト返却	
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			

[成績評価方法]
 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。

[授業の特徴・形式と教員紹介]
 製品お直し、生産技術に関する知見を広め、基本技術を習得する
 担当教員は企業でのファッションデザイナー経験をもつ教員である。

授業科目名	縫製造形演習	講師名	大滝
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自 由選択)	必修
授業方法(講義・演 習・実技)	講義	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	ファッションビジネス能力検定3級取得(6/29実施)に向けて、ファッション造形知識を学ぶ。アパレル業界の流れを学び、ブランド研究を通して商品ディレクションの意義を学ぶ		
習得 技術・知見	ファッションビジネス能力検定3級取得。検定取得のためだけでなく、業界において必要な基礎知識を学ぶ。アパレル業界の一年の流れ、ブランドディレクターの仕事を理解する。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	ファッションビジネスI		
評価方法 採点方法	ファッション造形知識のテスト、ゾーニングマップ、プレゼンテーションでの採点。		
合計時間数	37.5	1年・前期	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
例)1	例)9月1日	例)用具名称・使用方法の理解	例)ミシン説明・使い方・用具準備
	4月7日	オリエンテーション	
2	4月14日	アパレル業界の仕組み、一年の流れ	アパレル業界の仕組みを学び、自分のなりたい職種について学ぶ
3	4月21日	デザインの定義と特性、ファッションコーディネート	教科書を通してファッション業界の基本知識を学ぶ
4	4月28日	小テスト ファッション商品知識	前回の授業内容の理解度を知る。教科書を通して商品知識を学ぶ。
5	5月12日	小テスト 前回のテスト解説	前回の授業内容の理解度を知る。解説を通してさらに理解を深める。
6	5月19日	前回のテスト解説 ファッションビジネスに関わる仕事内容説明	前回の授業内容の理解度を知る。解説を通してさらに理解を深める。多岐に渡るファッションビジネスに関わる職種を知る。
7	5月26日	ファッションビジネスに関わる仕事	ファッションディレクター、バイヤー、MDの仕事内容を理解する
8	6月2日	ブランド研究、オリジナル商品とは	国内ブランドを研究し、オリジナル商品について学ぶ
9	6月9日	ブランド研究、セレクトショップ、SPA、オリジナルブランド	いろんな形態のブランドからオリジナル商品の役割について学ぶ
10	6月16日	小テスト ブランド研究、ゾーニングを学ぶ	様々なブランドのテイストを理解し、位置付けを学ぶ
11	6月23日	前回のテスト解説 テスト 検定対策	評価対象になるテスト、検定前の解説
12	6月30日	ブランド研究、ゾーニングマップ作成	国内ブランドを5ブランド選び、ゾーニングマップを作成する
13	7月7日	マップ完成 プレゼンテーションとは	プレゼンテーションの意義と方法、パワーポイントの基本操作を学ぶ
14	7月14日	マッププレゼンテーション 総評	パワーポイントを使ったプレゼンテーション実践から他者に伝えるスキルを学ぶ
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] ファッションビジネス全般のビジネス用語や千さん技術、商品知識を習得。 担当教員はファッションブランドのMD経験をもつ教員である。			

授業科目名	Mac演習1	講師名	梨本
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自 由選択)	必修
授業方法(講義・演 習・実技)	演習・実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	Macパソコンを使用したグラフィックソフト(Illustrator・Photoshop)・PowerPointの技術取得		
習得 技術・知見	Illustrator初～中級操作およびPhotoshop初級操作習得 PowerPointによるプレゼンテーションツール作成基本操作習得 各ソフトウェアの連動操作習得		
企業連携 (連携企業)	なし		
使用教科書 他教材	なし		
評価方法 採点方法	課題作成による知識と技術/期末テストによる基礎知識確認/授業態度/出欠状況をトータルして評価		
合計時間数	95	1年・通年	

授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月9日	授業内容及びソフトウェアの説明・設定	イラレ・フォトショの違い・LANDISK個人フォルダ作成
2	4月16日	ソフトウェア操作方法の取得	イラレの使い方説明→自己紹介作成
3	4月23日		自己紹介まとめ
4	4月30日		フォトショの使い方説明→フォトショ写真加工①
5	5月7日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ クリップングマスク
6	5月14日		↓
7	5月21日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	フォトショ・イラレ カラージョー作成
8	5月28日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ トレース初級
9	6月4日		↓
10	6月11日		トレース提出
11	6月18日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	DM作成
12	6月25日		↓ & 期末テスト用おさらい
13	7月2日	期末テスト	期末テスト(筆記)&DM提出
14	7月9日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	フォトショ フィルター→切り抜き・ぼかし等練習
15	7月16日	前期終了ショーリハーサル	
<後期Ⅰ・Ⅱ>			
1	9月3日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ 罫線作成・整列練習課題リーフレット作成
2	9月10日		↓
3	9月17日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	パワポ・イラレ デザイナーMap作成
4	9月24日		↓
5	10月1日		↓
6	10月8日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ・フォトショ 映画ポスター制作
7	10月15日		↓
8	10月22日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	イラレ Tシャツプリント柄デザイン
9	11月5日		↓

[成績評価方法]
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。

[授業の特徴・形式と教員紹介]
Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップ の初～中級操作と実践、パワーポイントを使ったプレゼンテーションツール 作成を学ぶ。
担当教員はアパレル企業での経験をもつ教員である。

授業科目名	パーソナルコーディネイト	講師名	遠藤
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目概要	ファッションコーディネイトのテクニック、VMDテクニックの技術実習。		
習得 技術・知見	ファッションコーディネイトの専門用語、VMDテクニックの技術実習。		
企業連携 (連携企業)	なし		
使用教科書 他教材	スタイリングブック、製品サンプル		
評価方法 採点方法	製作課題、授業参加、ペーパーテスト		
合計時間数	87.5	1年・通年	

授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月7日	オリエンテーション	
2	4月14日	アイテム、ディテールの名称、実物確認	
3	4月21日	コーディネート組、プレゼン	
4	4月28日	ディスプレイ用語	
5	5月12日	スカーフ、ネクタイの結び方	
6	5月19日	リサーチ、ディスプレイ見学	
7	5月26日	ディスプレイ実習	
8	6月2日	ソフトウェア技術向上と具体デザイン作成	
9	6月9日	平置き	
10	6月16日	トルソー	
11	6月23日	映画のファッションチェック	
12	6月30日	衣装の効果	
13	7月7日	シルエット研究	
14	7月14日	テスト準備	
15	7月16日	テスト準備	
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			

[成績評価方法]
 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。

[授業の特徴・形式と教員紹介]
 Macを使用したグラフィックソフトの技術取得 イラストレーター・フォトショップ の初～中級操作と 実践、ハローワークポイントを使ったフレッシュインターンシップツール 作成を学ぶ。
 担当教員はアパレル企業での経験をもつ教員である。

授業科目名	就職ガイダンス		講師名	担任
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科		分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	講義		場所 (校内・校外)	校内
授業科目概要	アパレル業界の構造を知り、希望する職種を見つけて就職できるように指導する			
習得 技術・知見	業界知識と社会人マナーを習得する			
企業連携 (連携企業)	5社以上のアパレル企業に学内業界セミナーを依頼予定			
使用教科書 他教材	オリジナルプリントを作成			
評価方法	定期テスト			
採点方法				
合計時間数	60		1年・後期	
授業計画及び学習の内容				
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容	
1	9月2日	大好きなことを仕事にしよう! 業界研究①	就職意識アンケート、就活スケジュール提示。 アパレル業界の仕組みと現状について。	
2	9月9日	業界説明会① 業界研究②	*アパレル企業人事部をお呼びして業界(企業)説明会実施。 ファッションとマーケティング。アパレル業界の問題点。	
3	9月30日	業界説明会② 業界研究③	*アパレル企業人事部をお呼びして業界(企業)説明会実施。 アパレル業界の職種と職場マナーについて。	
4	10月21日	求人情報の調べ方① 求人情報の調べ方②	就活サイトの活用と情報収集、エントリーについて。 興味ある企業を20社リストアップし、その理由も記入。	
5	11月11日	卒業生の就活体験①	*活躍する卒業生をお呼びして就活体験談をトークしてもらう。	
6	11月18日	卒業生の就活体験② 企業研究①店舗調査地域の決定	*活躍する卒業生をお呼びして就活体験談をトークしてもらう。 リストアップ企業から人気企業を数社選び、それぞれの店舗が集中する商業地域	
7	11月25日	企業研究②店舗調査会(外出授業)	あらかじめ、グループ別に調査店舗を2~3店決めておき、店舗調査会を実施す	
8	12月2日	企業研究③発表会	店舗調査の結果をグループごとにレポートを作成。そのレポートに基づいて、グ	
9	12月9日	エントリーシート、履歴書の作成	志望理由の書き方等を指導。	
10	12月16日	就職試験対策①筆記試験	適性試験、SPI、一般常識等の解説。	
11	12月23日	業界説明会③	*アパレル企業人事部をお呼びして業界(企業)説明会実施。	
12	1月20日	就職試験対策②筆記試験	適性試験、SPI、一般常識等の解説。	
13	1月27日	志望企業リストアップと就活準備、就職室活用	志望企業の選定と入社試験前に準備すべきことの各自チェック。	
14	2月3日	面接練習会①グループ面接	志望企業を想定した模擬グループ面接	
15	2月10日	面接練習会②個別面接	志望企業を想定した模擬個人面接	
16		総括	就活スタートへの心構え	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲を100点として成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。				
[授業の特徴・形式と教員紹介] 就職に関する基本姿勢を醸成、対応策についてガイダンス				

授業科目名	ショップ起業実習	講師名	吉岡
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	実習	場所 (校内・校外)	校内75% 校外25%
授業科目 概要	起業の為にを行う業務全般 グループワークによる役割分担とスケジュール管理への取り組み		
習得 技術・知見	ブランドのコンセプト作り・MD・マーケティング・VMDなどのプランニング方法習得。 商品製作・ショップ内装プラン・ショップ運営方法習得。 ショップ運営におけるグループワーク実習。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	マックブック、講師作成資料。		
評価方法 採点方法	グループワークでの協調性/ 実践取り組み姿勢/ 出欠状況/ 授業態度		
合計時間数	92.5	1年・通年	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月8日	授業内容説明	起業するために必要な事
2	4月15日	グループワーク	コンセプト決定に向けての話し合い、セクション別業務内容説明
3	4月22日	↓	↓
4	5月13日	グループプレゼン	コンセプト決定
5	5月20日	セクション、セクションリーダー、社長決定	社長を中心に進行し概要案決定
6	5月27日	概要案会議	
7	6月3日	↓	
8	6月10日	スポーツイベント	
9	6月17日	プレゼンリハーサル	
10	6月24日	理事長プレゼン(第1回)	ショップコンセプト、ブランドロゴ
11	7月1日	プレゼン予備日	
12	7月8日	理事長プレゼン(第2回)	
13	7月15日	プレゼン予備日	商品内容、プロモーションプラン、ショップ内装
14	9月2日	販売商品製作及び各セクション準備スタート	
15	9月9日	↓	
16	9月16日	↓	
17	9月23日	↓	
18	9月30日	↓	
19	10月7日	運動会(予定)	
20	10月14日	↓	
21	10月21日	↓	
22	11月4日	↓	
23	11月11日	↓	
24	11月18日	↓	
25	11月25日	↓	
26	12月2日	↓	
27	12月9日	↓	
28	12月16日	↓	
29	12月23日	↓	
30	1月13日	ショップオープン事前準備と確認	
31	1月15日	ショップオープン	搬入作業担当学生は研修扱い
32	1月16日	↓	
33	1月17日	↓クローズ 15時予定	ショップクローズ後は学校に帰って片付け作業
34	1月20日	在庫確認・各セクションレポート作成	1/18.19.20昼休みに在庫処分セール予定
35	1月27日	最終書類提出・収支計算	
	2月3日	休講	
	2月10日	休講	
36	2月17日	ショー準備期間	
37	2月24日	↓	
38	3月3日	ファッションショー撤収作業	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 実際にポップアップストアをオープンさせることを最終目標として、起業の為にを行う業務全般のグループワークによる役割分担とスケジュール管理への取り組み。 担当教員は企業でのアパレルデザイナー経験をもつ教職員。			

授業科目名	販売オンザジョブトレーニング	講師名	山川
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	講義、実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	◆現代の販売員に求められること、印象についての理解を深める ◆実際にリアルな現代の現場で必要な立ち振る舞い、接客マナー、接客方法について		
習得 技術・知見	◆お客様に満足していただける、且つ感動を与えられるスタッフになれるような心構えの習得 ◆座学だけでなくロールプレイングを通し、体で覚え、知識として知るだけでなく、自身で実践できるようにする ◆販売員として卒業後すぐに店頭で販売戦力になれるような立ち振る舞い、接客マナーをロールプレイングを通して学ぶ		
企業連携 (連携企業)	なし		
使用教科書 他教材	講師自作マニュアル		
授業課題	敬語やマナーについて。販売(店頭)ロールプレイングでの立ち振る舞いをチェックする。		
合計時間数	87.5	1年・通年	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1回	4月14日	オリエンテーション	自己紹介、どんな販売員になりたいか?
2回	4月21日	販売員とは?①	通販のいいところ、店舗のいいところ、CSとは?
3回	4月28日	販売員とは?②	感じのいい販売員とは?ディスカッション
4回	5月12日	GWの課題発表、第一印象について①	瞬間印象、本質印象について座学、ディスカッション
5回	5月19日	第一印象について②	見られる意識、表情、美しい立ち姿勢、お辞儀
6回	5月26日	正しい敬語、感じのいい言い回し	座学、尊敬語、謙譲語、丁寧語、接客用語について
7回	6月2日	感じのいい声とは?発声練習	接客8大用語実践、背中で受け取るゲーム!
8回	6月9日	店頭実践～お出迎え編①	動的待機、ナンバーバル、インフォメーション、目配り
9回	6月16日	店頭実践～お出迎え編②	先週のおさらい、トップスの畳み方、ウェルカムアプローチとは?
10回	6月23日	店頭実践～お見送り編	心に残るお見送りとは?ショパールの渡し方、メッセージ
11回	6月30日	店頭実践～フィッティング、ご案内編	試着時のお客様心理、ご案内時の所作、マナー等
12回	7月7日	筆記テスト	前半は復習、後半でテスト
13回	7月14日	オリエンテーション	ブレインダンプ、自分のいいところ出し
14回			
15回			
16回			
17回			
18回			
19回			
20回			
21回			
22回			
23回			
24回			
25回			
26回			
27回			
28回			
29回			
30回			
31回			
32回			
33回			
34回			
35回			
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 実際にリアルな現代の現場で必要な立ち振る舞い、接客マナー、接客方法について知見を高め、技術を身につける。 担当教員は現役のアパレル販売員トレーナーである。			

授業科目名	起業・ブランド設計演習	講師名	大滝
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	演習	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	ブランドプロデュースにあたって必要なコンセプトワーク、ブランディング等を演習し、商品企画・店舗企画を含め自己ブランドをプロデュースする		
習得 技術・知見	前期では個人ベースにてマイブランドを企画し段階を追って演習しブランド資料を作成する。後期ではグループワークにてブランド設計資料作成・商品企画書作成をして、それをもとにショップ模型を作成する。		
企業連携 (連携企業)	株式会社玉屋東京本社		
使用教科書 他教材			
授業課題	グループごとにリサーチしたアパレルブランドの商品企画を立案作成してショップ模型を作成する。		
合計時間数	92.5	1年・通年	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月8日	ブランドプロデュースのケーススタディ	大滝メソッドによる実話集説明
2	4月15日	好きなブランドのマーケティングリサーチ	実際リサーチする(就活先)
3	4月22日	リサーチレポート作成	提出
4	5月13日	ショップ内装リサーチ	上記ブランドの内装をリサーチする
5	5月20日	ショップベース作成	手書きにて作成提出
6	5月27日	↓	提出
7	6月3日	マイブランド企画	
8	6月10日	↓	
9	6月17日	↓	
10	6月24日	↓	
11	7月1日	↓	
12	7月8日	個別プレゼン	
13	7月15日	↓	
14	9月2日	チームにてブランディング資料作成	・コンセプトワーク
15	9月9日	↓	
16	9月16日	↓	
17	9月23日	↓	
18	9月30日	↓	・商品企画・MD
19	10月14日	↓	
20	10月21日	↓	
21	11月4日	↓	
22	11月11日	↓	・ショッププラン
23	11月18日	↓	課題提出(期末課題)
24	11月25日	チームにてショップモデル制作	材料買い出し
25	12月8日	↓	
26	12月15日	↓	1:既存ブランドに対する提案(駄目出し・改善提案)ロディスボット
27	12月22日	プレゼン練習	プレゼン課題提出
28	1月12日	(株)玉屋東京本社訪問	企業説明及びブランドに関してレクチャーいただく
29	1月19日	2021 S/S TOP 10予想リスト作成	
30	1月26日	↓	
31	2月2日	↓	
32	2月9日	↓	提出
33	2月16日	↓	
34		ショー期間	
35		ショー期間	
36		ショー期間	
37		ショー期間	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 産学連携企業との連携授業として実務実習を用いながらブランドの企画実習や演習を行う。 担当教員はアパレル企業の代表取締役の経験をもつ。			

授業科目名	職業実践/産学連携実習	講師名	吉岡
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	実習	場所 (校内・校外)	校内65% 校外35%
授業科目概要	企業様よりいただいた課題に対して提案資料作成とプレゼンテーション。 (店舗リサーチ、企業訪問実施)		
習得 技術・知見	株式会社ステップス様・・・リアル店舗運営とEC運営体験と実習。集客方法への提案(企業訪問あり) リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社・・・ブランディングについてのマーケティング実習(企業訪問あり) 株式会社 キャン・・・入店しやすいアパレルショップの企業研究(後期II予定)		
企業連携 (連携企業)	株式会社ステップス 常務取締役 塚田龍一様 リーバイ・ストラウス ジャパン株式会社 マーケティング統括部 小神野 直子様/土屋 佳奈子様 株式会社 キャン 人事部マネージャー 國井 秀夫様(後期II予定)		
使用教科書 他教材	マックブック・外部講師作成資料・講師作成資料		
評価方法 採点方法	グループワークでの協調性/ 課題への理解力/ 実習取り組み姿勢/ 出欠状況/ 期末テスト結果/ 授業態度。 企業担当者様には、グループワークを通して課題への探究心とプレゼンテーションに至るまでの過程を、進むべき道を指し示す『コンパス』の考え方として共有。評価方法: プレゼンテーション内容、取り組み姿勢、訪問時の態度。		
合計時間数	87.5	1年・通年	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	5月12日	前期授業開始	
2	5月19日	課題内容説明	企業様から課題説明①
3	5月26日	プレゼン資料作成	
4	6月2日	↓	グループ毎に企業訪問予定
5	6月9日	↓	
6	6月16日	↓	
7	6月23日	↓	
8	6月30日	↓	
9	7月7日	↓	
10	7月14日	↓	
11	7月21日	プレゼンテーション	企業様ご来校
12	7月28日	前期レポート	
13	9月1日	後期授業開始	
14	9月8日	授業内容説明	企業様から課題説明②
15	9月15日	プレゼン資料作成	
16	9月29日	↓	
17	10月6日	↓	グループ毎に企業訪問予定
18	10月13日	↓	
19	10月20日	↓	
20	10月27日	↓	
21	11月10日	↓	
22	11月17日	↓	
23	11月24日	プレゼンテーション	企業様ご来校
24	12月1日	前期レポート	
25	12月8日	授業内容説明	企業様からの課題説明③
26	12月15日	課題資料作成	
27	12月22日	↓	クラス毎に企業訪問予定
28	1月12日	↓	
29	1月19日	プレゼンテーション	企業様ご来校予定
30	1月26日	テスト前復習	
31	2月2日	期末テスト	
32	2月9日	前期の総復習	おさらい/テスト解説
33	2月16日	ショー準備期間	
34	2月28日	ファッションショー3日目	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 産学連携企業よりいただいた課題に対して実務で必要な知識と技術を習得しながら、提案資料作成とプレゼンテーションを課題とする。 担当教員はアパレル企業でデザイナー経験をもつ。			

授業科目名	Webマーケティング/EC演習		講師名	吉岡 文子
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科		分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	演習		場所 (校内・校外)	校内80%、校外20%
授業科目概要	Webマーケティング、EC全般の知識学習 グループワークによるECサイト立ち上げ・運営・分析と問題点への取り組み			
習得 技術・知見	ECサイトの立ち上げ、運営方法習得 販売商品の製作技術習得 効果的な商品撮影方法の学習(商品撮影に関しては、小林先生にご協力依頼)			
企業連携 (連携企業)	講師として迎え、ECサイト運営に関する現場の業務内容と将来性を講義予定(日程調整中)			
使用教科書 他教材				
評価方法 採点方法	グループワークでの協調性/課題への理解力/実践取り組み姿勢/ 出欠状況/ 期末テスト結果/ 授業態度。 外部講師には、EC運営業務への理解と将来性を、社会の荒波を切り開くための『剣』の考え方として共有。			
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)85時間		前期35時間/後期I 32.5時間/後期II 17.5時間	
授業計画及び学習の内容				
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容	
1	4月6日	入学式		
2	4月13日	授業内容説明	Webマーケティングへの理解・用語学習	
3	4月20日	Webマーケティング状況把握	↓	
4	4月27日	↓	↓	
5	5月11日	↓	↓	
6	5月18日	Webマーケティング / EC状況把握	ECへの理解・用語学習	
7	5月25日	↓	↓	
8	6月1日	↓	グループワークによるマーケティング分析とECの選定	
9	6月8日	↓	グループワークによるEC運営企画立案	
10	6月15日	↓	↓(販売商品リサーチ・選定・収支計算・PL法・知的財産学習)	
11	6月22日	↓	↓	
12	6月29日	テスト前復習		
13	7月6日	期末テスト		
14	7月13日	前期の総復習	おさらい/テスト解説	
15	9月7日	プレゼンテーション		
16	9月14日	サイト運営準備	販売商品製作 / ページ作成作業	
17	9月28日	↓	↓(有効的な商品撮影・ラッピング・コメント)	
18	10月5日	↓	↓	
19	10月12日	↓	↓	
20	10月19日	EC実践		
21	11月2日	↓	↓	
22	11月9日	↓	↓	
23	11月16日	↓	↓ 問題点の発表と共有	
24	11月30日	↓	↓ 問題点への改善	
25	12月7日	↓	↓	
26	12月14日	↓	↓	
27	12月21日	↓	↓	
28	1月18日	テスト前復習		
29	1月25日	期末テスト		
30	2月1日	期末テスト解説/実践結果まとめ	サイト運営の反省と問題点の洗い出し(グループワーク)	
31	2月8日	実践結果まとめ	サイト運営の反省と問題点、ECについてのレポート	
32	2月15日	シヨウ準備期間		
33	2月22日	↓	↓	
34	2月27日	ファッションショー2日目		
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。				
[授業の特徴・形式と教員紹介] グループワークによるECサイト立ち上げ・運営・分析と問題点へ、実務を取り入れながら取り組む。 担当教員はアパレル企業でデザイナー経験をもつ。				

授業科目名	ビジネス実務演習		講師名	大滝
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科		分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	演習		場所 (校内・校外)	校内80%、校外20%
授業科目 概要	ビジネスの世界で生きていく上での基本的スキル・能力の育成を学ぶ。 社会・組織の中で自分のキャリアを築いていく上に必要不可欠な能力を身につける。			
習得 技術・知見	ビジネス文章、ビジネスマナーの習得。			
企業連携 (連携企業)				
使用教科書 他教材				
評価方法 採点方法	授業参加、筆記テスト			
合計時間数	87.5		2年・通年	
授業計画及び学習の内容				
学期区分	回数	ステップ・課題目的・目標	内容	
9月2日	1	会社とは何か、理解を深める。 職務と職位、会社組織の理解を深める。	会社の役割と目的。 ライン&スタッフ等、会社組織の基本を理解させる。	
9月9日	2	就職内定から会社生活の最初一年をどう過ごすか、 キャリアをどう積んでいくか。	新入社員としてのマナー、注意すること。 総合職、一般職、専門職の違い、昇進と役職について。	
9月30日	3	ビジネスマナーの実際① 「接客8大用語」ロールプレイング	アパレル業界のマナーについて 「あしかもおおいし」を場面設定してロールプレイングする。	
10月21日	4	ビジネスマナーの実際②「接客5原則」 苦情処理のロールプレイング	5原則「挨拶、表情、態度、身だしなみ、言葉遣い」のロールプレイ。 お客様の苦情を想定したロールプレイング。	
11月11日	5	自己紹介①自己分析シートの作成	過去を振り返り自己分析シートを作成する。	
11月18日	6	自己紹介②ビジネスやパーティー等での自己紹介 趣味、特技、資格の作り方、自己啓発の考え方	新入社員を想定した自己紹介プレゼンを行う。 社会人として余暇をどう過ごすか、考えさせる。	
11月25日	7	会社の数字に強くなる①	どうすれば利益が出るか、変動費、固定費、	
12月2日	8	会社の数字に強くなる②	経費と領収書、求人票にある給与の見方について。	
12月9日	9	経営とマネジメント	経営とマネジメントの基本を学ぶ。	
12月16日	10	WORD①	ビジネス文書を作成する。	
12月23日	11	WORD②	ビジネス文書を作成する。	
1月20日	12	EXCEL①	ビジネス文書を作成する。	
1月27日	13	EXCEL②	ビジネス文書を作成する。	
2月3日	14	テスト①	ビジネス全般のまとめテストと解説。	
2月10日	15	テスト②	ビジネス全般のまとめテストと解説。	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。				
[授業の特徴・形式と教員紹介] 実習を中心に、ビジネス文章、ビジネスマナーの習得を目指す。 担当教員はアパレル企業での経験をもつ。				

授業科目名	バイヤー演習		講師名	山内
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科		分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	演習		場所 (校内・校外)	校内80%、校外20%
授業科目概要	バイヤーの位置付けや仕組みを理解し、バイヤー職全般の業務基礎知識取得			
習得 技術・知見	職業理解と、職種に必要な各種スキルの習得。			
企業連携 (連携企業)				
使用教科書 他教材				
評価方法 採点方法	授業参加、課題提出、筆記テスト			
合計時間数	57.5		2年・後期	
授業計画及び学習の内容				
学期区分	回数	ステップ・課題目的・目標	内容	
後期1	例)1	例)用具名称・使用方法の理解	例)ミシン説明・使い方・用具準備	
9月2日	1	オリエンテーション	授業の流れの説明	
9月9日	2	MD/VMD/バイヤー/プレス/営業/販売の概要	販売から始まるキャリアパスについての説明	
9月30日	3	VMD業務の基礎知識と概要	店頭ディスプレイをリサーチ	
10月21日	4	VMD業務の基礎知識と概要	ショップを設定しての課題(クリスマス用ディスプレイ・イラスト)	
11月11日	5	VMD業務の基礎知識と概要	ショップを設定しての課題(クリスマス用ディスプレイ・イラスト)	
11月18日	6	VMD業務の基礎知識と概要	ショップを設定しての課題(クリスマス用ディスプレイ・イラスト)	
11月25日	7	VMD業務の基礎知識と概要	ショップを設定しての課題(クリスマス用ディスプレイ・イラスト)	
12月2日	8	バイヤー業務の基礎知識と概要	バイヤー業務と専門用語の学習	
12月9日	9	バイヤー業務の基礎知識と概要	設定したショップ商品の売り上げ・上代・SKU設定	
12月16日	10	バイヤー業務の基礎知識と概要	設定したショップ商品の売り上げ・上代・SKU設定	
12月23日	11	プレゼンテーション	プレゼンテーション・質疑応答	
1月20日	12	プレゼンテーション	プレゼンテーション・質疑応答	
1月27日	13	MD業務の基礎知識と概要	PL法についてビジネス能力検定3級学習	
2月3日	14	筆記テスト	おさらいテスト/解説	
2月10日	15	後期の総復習	質疑応答	
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			
	21			
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。				
[授業の特徴・形式と教員紹介] 実例、実習をもとにした事業を展開。必要に応じて研修なども連携を図って授業を行う。 担当教員は、有名ショップでのバイイングを担当し、バイヤー経験を持つ。				

授業科目名	就職キャリアデザイン	講師名	担任
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	講義	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	ビジネスマナー、アパレル業界の中で、どのようにキャリア形成していくか理解させる		
習得 技術・知見	実際に就職する企業において、キャリアプランを作成できるようにする。		
企業連携 (連携企業)	ヤングファッション研究所、ツズキ、玉屋、クレヨン等の人事課に講演依頼		
使用教科書 他教材	オリジナルプリントを作成		
評価方法 採点方法	レポート提出と定期テスト		
合計時間数	35時間	2年・前期	
授業計画及び学習の内容			
		ステップ・課題目的・目標	内容
例)1	例)9月1日	例)用具名称・使用方法の理解	例)マシン説明・使い方・用具準備
	4月7日	オリエンテーション	
2	4月14日	アパレル企業でのキャリアデザイン1	ヤングファッション研究所(予定) のキャリア形成プラン実例
3	4月21日	アパレル企業でのキャリアデザイン2	ツズキ(予定) のキャリア形成プラン実例
4	4月28日	アパレル企業でのキャリアデザイン3	玉屋(予定) のキャリア形成プラン実例
5	5月12日	キャリア形成プランを作成しよう	個人ワーク
6	5月19日	社会人基礎力について	自分の足りないものの理解
7	5月26日	働くことについて	職業理解により自分が学ぶべき事項について理解
8	6月2日	自己理解ワーク	TEGテスト実施、エゴグラムによる自己分析
9	6月9日	右脳左脳	右脳左脳について学習して職業適性を考える
10	6月16日	アパレル企業でのキャリアデザイン4	クレヨン(予定) のキャリア形成プラン実例
11	6月23日	会社組織、労働法	働くうえで必要な労働法、社会保険等について
12	6月30日	社会保険、会計知識、給与の話	社会生活に必要な知識
13	7月7日	未来の働き方/自分のキャリアプラン	これからの時代における自分の働き方についてレポート
14	7月14日	定期テスト	定期テスト
[成績評価方法] 授業への参加・意欲を100点として成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 就職活動支援、企業人事担当者の講演。企業説明会など。			

授業科目名	講演・学外見学	講師名	吉岡
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	講義・演習	場所 (校内・校外)	校内60%/校外40%
授業科目概要	アパレルを中心とした広義でのデザイン知識の習得と向上を目的とした講義及び知見		
習得 技術・知見	専門講師を招いての講義、及びイベント・美術館・企業見学による知識習得と向上		
企業連携 (連携企業)	未定		
使用教科書 他教材	なし		
評価方法 採点方法	レポート提出/授業態度/出欠状況をトータルして評価		
合計時間数	37.5	2年・前期	

授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月10日	授業内容説明・スケジュール確認等	授業の意義・効果についての説明及び具体的な内容発表
2	4月17日	美術館見学(東京都写真美術館)	『写真とファッション』90年代以降の関係を探る
3	4月24日	講演会	講師未定
4	5月1日	校内にて	レポート作成・添削・面談など
5	5月8日	ギャラリー見学(21 21DESIGNSIGHTギャラリー)	『JAPAN DESIGN COMMITTEE展』デザイナー原画
6	5月15日	校内にて	レポート作成・添削・面談など
7	5月22日	校内にて	ディスカッション・レポート作成など
8	5月29日	企業見学(ライフスタイルアクセント(株))	アパレル事業企業及びアトリエ見学など
9	6月5日	美術館見学(国立新美術館)	『ファッション イン ジャパン 1945-2020 流行と社会』
10	6月12日	校内にて	レポート作成・添削・面談など
11	6月19日	講演会	講師未定
12	6月26日	物流倉庫見学(東京団地倉庫内センター)	『ファッション物流倉庫OTS』
13	7月3日	校内にて	レポート作成・添削・面談など
14	7月10日	校内にて	ディスカッション・レポート作成など
15	7月17日	前期修了ショー	

※見学・講演会に関しては日時・内容変更、増減の可能性あり。

<p>[成績評価方法]</p> <p>授業への参加・意欲を100点として成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。</p>
<p>[授業の特徴・形式と教員紹介]</p> <p>様々なギャラリーや美術館、講演会などの見学を中心に、職業に関する自信と知見を高める。 担当教員はアパレルデザイナーの実務経験者である。</p>

授業科目名	VP演習	講師名	梨本
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	講義・演習	場所 (校内・校外)	校内
授業科目概要	VP基礎知識と海外を含めた事例を使用した講義 個人ワーク・グループワークによるVP検索と企画立案・具体例作成 他授業(ブランド設計)との連動		
習得 技術・知見	VP用語と基礎知識習得 Illustratorによるベース描画・エンベロープ・遠近法などVP表現に必要な知識及び技術習得		
企業連携 (連携企業)	なし		
使用教科書 他教材	オリジナルテキスト(一部)		
評価方法 採点方法	課題作成による知識と技術/期末テストによる基礎知識確認/授業態度/出欠状況をトータルして評価		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	前期 32.5H/後期1・30H // TOTAL 62.5H	

授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月8日	授業内容説明・職種説明	VPの説明・ファッション業界職種等詳細説明
2	4月15日	アパレル業界VPの意味と意義	アパレルにおけるVPの必要性と具体例検索
3	4月22日	トレンドキャッチの方法と実施	トレンド説明(ほかの授業と被らない内容)
4	5月13日		個人ワークによる調査・分析・PR方法作成
5	5月20日		
6	5月27日	実際の店頭VP資料収集&作成・プレゼン	グループに分かれてリサーチ・写真撮影
7	6月3日		集めたデータを元に分析・まとめ作業
8	6月10日	(運動会予定)	
9	6月17日		
10	6月24日		プレゼンテーション&前期内容おさらい
11	7月1日	おさらい	VP用語再説明・復習
12	7月8日	期末テスト	期末テスト(筆記)&答え合わせと詳細解説
13	7月15日	前期まとめ	課題についての総評と後期課題に向けての説明及び調査
<後期1>			
1	9月2日	広告分析	個人ワークによる広告分析とまとめ
2	9月9日		
3	9月16日	イベントプランニング(ブランドPR・VPプラン)	ブランドの具体的デザインとプレゼン作成作業
4	9月23日		
5	9月30日		
6	10月7日		
7	10月14日	大滝先生「ブランド設計」授業連動課題	VP計画図・ベース作成・仕器ベース描画等
8	10月21日		
9	11月4日		
10	11月11日		
11	11月18日	期末テスト	期末テスト(筆記)&答え合わせと詳細解説

[成績評価方法]
 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。

[授業の特徴・形式と教員紹介]
 販促物のデザイン、作成などを通してマーケティング知識とビジュアルデザインの表現知識を身につける。
 担当教員は、アパレル実務の経験を持つ。

授業科目名	MD・商品企画	講師名	大滝
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	講義	場所 (校内・校外)	校内84/校外16%
授業科目概要	前期にてマーチャンダイジングの概論及び演習をし商品構成に関する基礎知識をつける。後期においては前期のMD概要を元に商品企画演習をする		
習得 技術・知見	商品構成プラン作成とそれに基づいた商品企画の手順を段階的に理解し方法論を習得する。演習としてターゲット設定に対して設定した商品仕入れ金額分の商品を構成するリアルMD演習及び同素材デザイン展開を考え商品構成をしから考え最終的にブランド設計の収支計画へと結びつく演習をしていく。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	講師の資料、スタイリングブック、		
評価方法 採点方法	出席及び授業態度 課題評価、期末試験		
合計時間数	95	2年・通年	

授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
例)1	例)9月1日	例)用具名称・使用方法の理解	例)ミシン説明・使い方・用具準備
1	4月9日	好きなブランドのターゲットマップ作成	パワポにてイメージマップ作成
2	4月16日	年間MD表作成	オケーション・モチベーションを考えながら構成する
3	4月23日	(マンスリーテーマも考える)	提出
4	4月30日	GW前の夏物テストマーケティングリサーチ	店頭リサーチ
5	5月7日	リサーチシート作成	提出
6	5月14日	型数表を使用し商品構成表作成	300万円の仕入れ金額での商品計画表作成
7	5月21日	(リアルMD演習)	↓
8	5月28日		提出
9	6月4日	同素材デザイン展開のMDリサーチ	店頭リサーチ
10	6月11日	リサーチシート作成	提出
11	6月18日	収益計画演習	ブランド設計授業への対応
12	6月25日		課題提出
13	7月2日	ビジネス検定2級のMD概要説明	期末試験の準備のための解説
14	7月9日	前期期末試験(MD)	
15	7月16日	返却解答 解説	
16	9月3日	ブランドMD商品企画演習	5素材×4型展開 計20型の商品企画
17	9月10日	↓	上代・SKU設定、コーディネート確認
18	9月17日	↓	1000万円の商品仕入計画課題
19	9月24日	↓	提出
20	10月1日	ストーリーメイキング課題	連続する3つのシーンに対して素材・カラー展開をもとに
21	10月8日	↓	スタイリングを考えながら商品組みをする
22	10月15日	↓	
23	10月22日	↓	提出
24	11月5日	投入表作成演習	ストーリーメイキング課題のアイテム使用
25	11月12日	↓ 平絵演習	スタイリングブック使用
26	11月19日	↓	3レンジ500万のMD計画(反物計算含む)
27	11月26日	↓	提出
28	12月3日	冬物商材リサーチ	店舗リサーチ(ブランドを設定してリサーチ)
29	12月10日	クリスマスオケーションに対するMD	クリスマスシーンでの商品計画演習
30	12月17日	↓	10型 500万円のMD構成
31	12月24日	↓	期末課題提出
32	1月14日	2021 S/S TOP 10予測	予測資料作成
33	1月21日	↓	
34	1月28日	↓	
35	2月4日	予測に対する確認リサーチ	ショップにてトレンド確認リサーチ
36	2月18日	ショー期間	提出
37	2月25日	↓	
38	3月4日	↓	

[成績評価方法]

授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。

[授業の特徴・形式と教員紹介]

マーチャンダイジングの概念を捉え、MDの視点から商品について学ぶ。
担当教員は、大手アパレルの代表取締役を務めた経験をもつ。

授業科目名	卒業制作ファッションショー制作実習	講師名	多数
実施 学科・クラス	ファッションビジネス科	分別(必修・選択・自由選択)	必修
授業方法(講義・演習・実技)	実技	場所 (校内・校外)	ホール1～4
授業科目概要	3月の卒業制作ファッションショーに向けた準備・企画立案・実行		
習得 技術・知見	企画立案からプレゼンテーションの流れ。実行までの知識習得 各係ごとの作業を通して、イベントの流れ、使用機材の知識習得・技術向上を目指す 複数人での企画実行及びコミュニケーション能力向上も目指す		
企業連携 (連携企業)	なし		
使用教科書 他教材	なし		
評価方法 採点方法	役職有無/仕事取り組み/授業態度/出欠状況をトータルして評価		
合計時間数	(1コマ/2.5H計算)	前期 37.5H/後期1・60H/後期2・60H // TOTAL 157.5H	

授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月10日	授業内容説明・スケジュール確認等	授業説明 及びリーダー投票・決定
2	4月17日		各係決定→係ごとリーダー決定
3	4月24日		ショー全体テーマに向けた企画立案&係作業
4	5月1日		↓
5	5月8日		↓
6	5月15日		↓
7	5月22日		↓
8	5月29日		↓
9	6月5日		↓
10	6月12日	ショー全体テーマプレゼン	全校ショー全体テーマプレゼンテーション実施
11	6月19日		係ごと打ち合わせ&前期修了ショー準備
12	6月26日		↓
13	7月3日		↓
14	7月10日		↓
15	7月17日	前期修了ショー	
<後期Ⅰ・Ⅱ>			
1	9月4日	BSショー本部設立	ショー全体リーダー選出及び最終係決定
2	9月11日	バス遠足	
3	9月18日		各係ごと作業
4	9月25日		↓
5	10月2日		↓
6	10月9日	プレゼン実施	第1回プレゼン
7	10月16日		各係ごと作業
8	10月23日	プレゼン実施	第2回プレゼン
9	11月6日		各係ごと作業

[成績評価方法]
 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、留年。

[授業の特徴・形式と教員紹介]
 2年間学んだことを活かし卒業制作ファッション・ショーの演出企画、運営を遂行しつつ各々リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーション、企画立案、リスクマネジメント、予算管理能力などを修得する。